



記者発表資料  
2025年（令和7年）12月23日

藤沢記者クラブ各位

## 県内初！「循環肥料ふじまる」を菌体りん酸肥料として登録！<sup>きんたい</sup>

～実用化を目指し、日本大学と共同研究へ～

藤沢市では、浄化センターで発生する下水汚泥を燃やした燃焼灰を肥料として実用化することを目指しています。

11月20日に燃焼灰「循環肥料ふじまる」を菌体りん酸肥料※として、神奈川県に肥料登録しました。自治体による燃焼灰の登録は県内初、全国では2例目となります。

### 「循環肥料ふじまる」について

名称は一般公募により決定しました。肥料成分は肥料の三要素の一つである「りん酸全量」を24%保証しており、植物に吸収されやすい「く溶性りん酸」の割合が高いことも特徴です。

また、発生した燃焼灰に水分を加えて加湿する簡単な生産方法のため、現在の設備で対応することが可能です。



循環肥料ふじまる

### 日本大学との共同研究について

「循環肥料ふじまる」の実用段階にむけて、10月1日に日本大学生物資源科学部と「植物生育に対する下水汚泥燃焼灰の有効性・可能性の評価」に関する共同研究を開始しました。肥料としての有効性や安全性と藤沢の土壤への適正などを調査・研究し、実用化への取組を進めてまいります。



日本大学共同研究（イメージ）

※菌体りん酸肥料とは下水汚泥から作られた肥料の利用促進を目指して、令和5年

10月に新たに創設された肥料規格のことです。肥料成分の保証が可能となり、他の肥料と混ぜて生産・販売できるなど、様々なメリットがあります。

### 【この資料に関する問い合わせ先】

藤沢市 道路下水道部 下水道施設課

担当： 佐藤、田中、高橋、名嘉山

内線： 4533

直通： 0466(50)8254



2025  
健康経営優良法人  
KENKO Investment for Health  
大規模法人部門